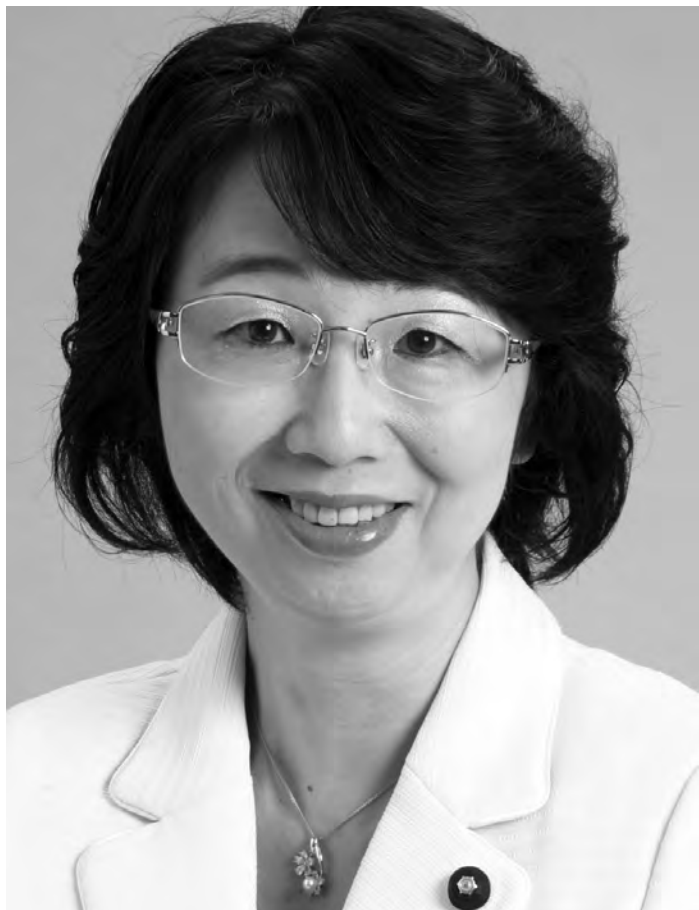


来年の都議会議員選挙に 里吉ゆみ都議を擁立

日本共産党世田谷地区委員会が発表

里吉ゆみ必勝へ、後援会員・ニュー
ス読者のみなさんの大きなご支援、
お力添えをお願いします。

日本共産党世田谷地区委員会は、来年の都議会議員選挙の世田谷選挙区(定数8)に、現職の里吉ゆみさん(49歳)を擁立すると発表しました。里吉ゆみさんは、世田谷区議3期を経て前回2013年の都議選で初当選しました。初当選以来、都議会文教委員会に所属、現在は副委員長です。党世田谷地区委員会副委員長。家族は夫と1男。



いであつた

豊洲新市場問題をはじめ日本共産党への期待と注目がかつてなく広がっています。みなさんのご支援で17議席、都議会第3党という力があつたからこそ、さまざまな取り組みができたと痛感しています。

来年は都議会議員選挙です。私は2期目に挑戦します。これまで地域のみなさんに支えていただき、世田谷のさまざまな声を都政に届けてきました。引き続き都政へ押し上げていただきますよう、よろしくお願ひします。

「保育園に入れないければ仕事をやめるしかない」と悩むパパ・ママ。「両親とも介護が必要だけど、特養ホームも順番まちで入れず、仕事を辞めた」という働き世代など、切実な声にこたえて、保育園や特養老人ホームの拡充に力を尽くしてきました。区民のみなさんの運動、党区議団とも協力し、保育の質も守りながら、今年度は約2200人分の保育所整備をすすめています。特養老人ホーム1000人分建設のめどもたちました。文教委員として「すべての子どもに豊かな教育を」と、とくに障害児の通う特別支援学校の環境整備などに力をつくしてきました。

世田谷と東京が、子育ても老後も、障害があつても誰もが安心してくらせる地域となるよう引き続き頑張る決意です。ご支援、お力添えをよろしくお願ひいたします。

さぎそう

2016年11月号

世田谷区日本共産党後援会

〒154-0004 世田谷区太子堂4-5-2 電話03 (3419) 7721 FAX (3419) 7673

里吉ゆみ都議応援メッセージ



同じ母親として「尊敬」

姫井晶子

パワフルでフットワークが軽い。初対面の人でも安心感を抱ける人柄、涙もろい感動やさん。里吉ゆみさんはそんな人です。

私と里吉さんは20年来のお友だちです。青年運動のリーダー、区議会議員を経て、3年前に都議会議員となった経験豊富な試され済みの政治家。区議時代には待望の優喜くんが誕生。子育てしながら議会活動で奮闘する姿は同じ母親として「尊敬」の一言に尽きます。最近、TVでも話題の日本共産党都議団の活躍は、

られています。

都民の立場にたった論戦をする里吉ゆみさんの議席を世田谷で守り、日本共産党の議席を増やすことは、子育て世代の切実な要求である「認可保育園を増やして待機児童解消を！」「30人学級の実現！」にむけた確実な道です。

高齢者施設を里吉さんで

寺島やえ

今一番深刻なのは、介護を負擔し、困っている家族の問題だと思えます。特養ホームと共に緊急時に対応出来る施設が必要です。

特養などのショートステイ

子どもが通う保育園の先生や保護者からも「共産党すごいよね！」という声が、私にも寄せ

は3カ月前からの予約制度になつていて、緊急時の対応はできていません。その要望に添えているのが、民間施設が実施している「お泊りデー」ですが、運営は大変厳しい自転車操業になつていると聞きます。地域の住民が求めているのは、今住んでいる地域に親を預けたいし、緊急時に日ごろデイサービスに通っている地域の施設にショートステイできたらというのが願いです。ポストの数ほど高齢者施設を！を本気で実現するため、里吉さんには今後もがんばってほしい！！！！



サギに会った気分

静岡大学元客員教授・編集者 森 正樹

「さぎそう」にサギに会ったような話を書くとは妙ではあるが、「しんぶん赤旗」の集金に来られるHさんから、あるとき「川柳の会」に誘われた。ここ三、四年、フェイスブックに、毎日一句、俳句もどき・川柳もどきを投稿してきたので、二つ返事で誘いに乗った。何句か用意して期待を膨らませて会に出てみたら講師以外は女性ばかり。

終わったら幹事さんからこの会は新婦人がやっているのので会員になってください、と言われ、男性でも会員になれるの、と問うと賛助会員ですと言われる。それなら最初から言つてよ、なんだかサギに会ったような気分になった。

あるとき、ぼくが講師を務める「本を書く、本をつくる」講座に、「川柳の会」で知り合ったAさんが参加してくれた。彼女の小説を地で行ったような人生の体験談は参加者を魅了した。みんな本づくりを応援しようということになった。

登場人物が現存することになり、おじけづき筆が進まなくなつたという。ここでも快いサギに会ったような気分になった。

伏魔殿 調査のたびに 新事実